

令和2年度大学教育再生戦略推進費 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 計画調書

[基本情報]

1. 事業責任大学	岡山県立大学							
2. 機関番号	申請 大学	25301						
3. 事業者 (大学等の設置者)	ふりがな (氏名)	おき ようこ 沖 陽子	(所属・職名)		理事長			
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな (氏名)	おき ようこ 沖 陽子	(所属・職名)		学長			
5. 事業責任者	ふりがな (氏名)	すえおか こうじ 末岡 浩治	(所属・職名)		理事 (社会連携担当副学長)			
6. 事業名	「吉備の杜」創造戦略プロジェクトー雑草型人材育成を目指してー							
7. 対象地域と テーマ	対象地域:岡山県 テーマ:①木造建築技術を有する建築設計者、②ICT技術(情報通信技術)を有するものづくり技術者、③食のスペシャリスト							
8. 事業のキー ワード	「未来型思考×地域力」を付加した雑草型リーダー 大学・地域・企業の合体教育 森と建築と匠を温め羅(つら)ねる杜(もり) 地域のICT技術を温め羅ねる杜 食と栄養と健康を温め羅ねる杜					幹事校		
9. 事業のポイント(400字以内) (400文字)	<p>本事業は若者の地元就職と地域の活性化を図るため、学部3年次生から大学院生及び社会人を対象に、予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において「多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した雑草型リーダー」の輩出を目指す。特長としては、分野横断型で「大学院横断型共通基幹科目(大学院クロスセクション)」を設け、社会変動に応える複眼的視野と実践知の世界を大学・地域・企業の共同体にて学ぶ。併せて、関係大学、自治体や産業界との協議に基づき創られた新たな産業人材像を求めて「森と建築と匠を温め羅ねる杜」「地域のICT技術を温め羅ねる杜」「食と栄養と健康を温め羅ねる杜」の3つのサテライトプログラムを開設する。本プログラムは事業協働機関の企業の若手社員、学生、教員らから構成され、企業が直面する課題や共同研究をテーマに実践型PBL演習を実施することにより、自ら考え自ら行動する人材を養成するものである。</p>							
10. 学生・ 教職員数	学生数				教職員数(R2.5.1)			
		入学定員 (令和2年度)	全学生数 (R2.5.1)	収容定員 (令和2年度)	定員充足率 (R2.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	370 人	1,621 人	1,482 人	109.4%	155 人	59 人	214 人
	大学院	99 人	191 人	209 人	91.4%			
合計	469 人	1,812 人	1,691 人	107.2%				
11. 学部・ 研究科等名	学部等数	3		研究科等数	3			
	(学部等名) 保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部 (研究科等名) 保健福祉学研究科、情報系工学研究科、デザイン学研究科							
12.	学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL							
https://www.oka-pu.ac.jp/guide/guide_detail/index/15.html								

13. 事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て						
年度(令和)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	合計
事業規模						
内訳	補助金申請額					
	大学負担額					

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金(公募要領P.9の2.(11)参照)は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

※3. 事業申請書中、他の補助金事業の取組は「申請書等の作成・提出方法」において示しているとおり、別の色で記載すること。ただし、事業経費欄には含めないこと。

14. 事業協働機関	(参加大学、短期大学、高等専門学校) ノートルダム清心女子大学、中国学園大学
	(参加自治体) 岡山県、笠岡市、総社市、備前市、赤磐市、真庭市
	(参加企業) 中国銀行、山陽新聞社、RSK山陽放送
	(その他) おかやまコープ、岡山県立大学協力会、岡山県食品新技術応用研究会、システムエンジニアリング岡山、岡山県建築士事務所協会、岡山県経済団体連絡協議会

15. 事業の一部を協力する大学	岡山理科大学、愛媛大学工学部
------------------	----------------

16. 事業事務総括者部課の連絡先 ※採択結果の通知、ヒアリング等の事務連絡先となります。				
部課名			所在地	
責任者	ふりがな (氏名)		(所属・職名)	
担当者	ふりがな (氏名)		(所属・職名)	
	電話番号		緊急連絡先	
	e-mail(主)		e-mail(副)	

※原則として、当該機関事務局の担当部課とし、責任者は課長相当職、担当者は係長相当職とします。

e-mail(主)については、できる限り係や課などで共有できるグループメールとし、必ず(副)にも別のアドレスを記入してください。

(事業責任大学名:岡山県立大学)